

高校生 ICT Conference 2017

in 新潟

高校生が考える心豊かな生活 ～ ICT×（家族・学校・地域）～

開催報告書

2017年8月17日（木） 11:00-17:40

【会場】NCC 新潟コンピュータ専門学校

主催

安心ネットづくり促進協議会

大阪私学教育情報化研究会

一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会

共催

内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁

新潟県サイバー脅威対策協議会

2017年8月17日



2017

目 次

1. 開催概要.....	2
2. 高校生 ICT Conference 2017 地域開催.....	4
3. 高校生 ICT Conference 2017 in 新潟 開催概要.....	5
4. 主担当.....	9
5. 高校生 ICT Conference 2017 サミット.....	9
6. 高校生 ICT Conference 最終報告会.....	9
7. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応.....	9

1. 開催概要

名 称：	<p>高校生 ICT Conference 2017</p> <p>テーマ：高校生が考える心豊かな生活 ～ ICT×（家族・学校・地域）～</p>
主催：	<ul style="list-style-type: none"> ● 安心ネットづくり促進協議会 ● 大阪私学教育情報化研究会 ● 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構 ● 一般財団法人草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会
共催：	内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省、消費者庁、新潟県サイバー脅威対策協議会
後援：	一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会、全国高等学校情報教育研究会、一般社団法人電気通信事業者協会、一般社団法人全国携帯電話販売代理店協会、一般社団法人日本スマートフォンセキュリティ協会、特定非営利活動法人コンピュータエンターテインメントレーティング機構、独立行政法人情報処理推進機構、一般財団法人マルチメディア振興センター、新潟県教育委員会、新潟県高等学校長協会、新潟県高等学校 P T A 連合会
協賛：	グーグル株式会社、株式会社サイバーエージェント、株式会社ディー・エヌ・エー、株式会社ラック、グリー株式会社、LINE 株式会社、インテグラル株式会社、エースチャイルド株式会社、一般社団法人情報教育研究所、Twitter Japan 株式会社、株式会社ベルパーク、株式会社メディア開発綜研
協力：	アルプスシステムインテグレーション株式会社、株式会社内田洋行、株式会社 NTT ドコモ、KDDI 株式会社、ソフトバンク株式会社、デジタルアーツ株式会社、一般社団法人インターネットコンテンツ審査監視機構、特定非営利活動法人浜松子どもとメディアリテラシー研究所、ストップイットジャパン株式会社
開催目的：	<p>高校生 ICT Conference は、2011 年度に「ICT プロジェクト 高校生熟議 in 大阪～ケータイ・インターネットの在り方&活用法～」として大阪でスタートしました。2012 年度は、東京開催を加え計 17 校 79 人の高校生が参加し、2013 年度は、東京・大阪に加え、北海道、奈良、大分を新たに加えて 5 拠点にて開催し、計 51 校 267 人の高校生が参加しました。2014 度も同 5 拠点にて開催し、計 44 校 221 人の高校生が参加しました。</p> <p>2015 年度は、石川、長野、神奈川、福岡を加えた 9 拠点にて開催し、計 78 校 310 人の高校生が参加しました。2016 年度は、より全国的な規模での展開に向けて、新たに北海道帯広、仙台、静岡、新潟、高知を加えた 14 拠点にて開催し、計 107 校 476 人の高校生が参加しました。</p> <p>高校生 ICT Conference の開催目的には、二つの側面があります。その一つは、教育的側面であり、初対面の人と話し合うという経験の中で、段階的に「考え、まとめる、聞く、話す、見せる、伝える」などの技術を修練することです。第二に社会的に注目を浴びている携帯電話やインターネットをテーマとすることで、大人になる準備段階として、携帯電話やインターネットを安心して安全に使うために、高校生として情報モラルについて自ら深く考え、実践することで、将来のより良いインターネット利用環境の構築の一助とすることです。</p>

	<p>【本年開催テーマのコンセプト】</p> <p>IT やインターネットは、その発明の理由は別としても、民間利用においては、これらの技術を用いることで、人々の生活や事業をより効率よく、便利に営めることを目的としています。情報技術に限らず、多くの発明品は同様の背景を持ちながらも、便利さゆえに、安易な利用や悪事への利用などにより、本来の目的にはそぐわない結果を及ぼすこともあります。今年度の高校生 ICT Conference では、私たちの生活を更により良くするために、どのように ICT を利活用すれば良いか、という視点でテーマを設定しました。当然ながら、有意義な利活用とは表裏一体で、負の側面についても配慮が必要であり、より心豊かな生活を実現するために ICT の利活用における「光と影」について、次世代を担う高校生が自ら考える機会とすることを目的とします。</p> <p>※平成 21 年 4 月から施行された「青少年インターネット環境整備法」に基づき、青少年が安心・安全にインターネットを利用するための環境整備が始まった。民間の自主的・主体的取組が鋭意進められていると共に、行政府に於いても施行状況の検討が進められている。一方、新学習指導要領が平成 23 年度の小学校を皮切りに、平成 24 年は中学校、平成 25 年度は高等学校で全面实施される。また、急速に普及を始めたスマートフォンや新しい ICT（情報通信技術）サービスにおいて、青少年が健全に ICT を利活用できるように育成するため、青少年への指導に加え、保護者や教職員への「情報モラル教育」の啓発活動が重要視されている。今年度は、スマートフォンの登場などにより急速に変化したインターネット利用環境下における諸問題について議論し、高校生が家庭や学校で取組むべき課題とともに、行政、事業者等への要望について本取組で提案し参考に資する。</p>
<p>開催の概要：</p>	<p>【各開催地での内容】 ※日程は、2. 地域開催の欄をご覧ください。</p> <p>(1) 挨拶 (2) 講演 (3) アイスブレイク (4) 熟議 (5) グループ発表 (6) 講評 (7) サミット参加者発表</p> <p>【東京サミット】</p> <p>(1) 挨拶 (2) アイスブレイク (3) 提言のための熟議 (4) 提言発表 (5) 講評 (6) 最終報告会参加者発表</p> <p>【最終報告会】</p> <p>(1) 各府省庁への提言発表（プレゼン） (2) 質疑応答・意見交換</p>
<p>各開催地 募集人員等：</p>	<p>募集参加生徒 30 名（各開催地により変動あり） 募集見学者各回 30 名（各開催地により変動あり）</p>
<p>参加参観方法：</p>	<p>参加費・参観無料 [要事前登録]</p>
<p>高校生 ICT Conference2017 実行委員会：</p>	<p>【委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 米田謙三（大阪私学教育情報化研究会 副会長） <p>【コアメンバー】</p>

	<ul style="list-style-type: none"> • 石田幸枝（公益社団法人全国消費生活相談員協会 IT 研究会理事・消費者団体訴訟室長） • 猪股 富美子（お茶の水女子大学 人間発達科学研究所） • 植田 威（特定非営利活動法人 NPO 情報セキュリティフォーラム理事） • 小城 英子（聖心女子大学） • 齋藤長行（青山学院大学 株式会社 KDDI 総合研究所） • 他、関係者団体、事業者等 <p>【事務局】</p> <p>安心ネットづくり促進協議会</p> <p>〒104-0031 東京都中央区京橋三丁目 14 番 6 号 斎藤ビル 2 階</p> <p>TEL: 03-3562-8850 FAX: 03-3562-1180</p>
--	--

2. 高校生 ICT Conference 2017 地域開催

高校生 ICT Conference 地域開催では参加した高校生がテーマに沿った議論を実施し、サミットへ行く代表者を選抜します。

	地域	開催日時	会場
地域開催	北海道（札幌）	2017年10月22日（日）11:00-17:00	札幌ユビキタス協創広場 U-cala
	北海道（帯広）	2017年10月15日（日）11:00-17:00	とちちプラザ
	宮城	2017年10月21日（土）10:00-17:00	東北工業大学 一番町ロビー
	石川	2017年9月23日（土）10:00-17:00	石川県教育会館
	長野	2017年9月30日（土）10:00-17:00	安曇野市明科公民館
	新潟	2017年8月17日（木）11:00-17:00	新潟コンピュータ専門学校
	東京	2017年10月7日（土）10:30-17:00	東京ユビキタス協創広場 CANVAS
	神奈川	2017年9月10日（日）10:00-17:00	学校法人岩崎学園
	静岡	2017年9月23日（土）10:00-17:00	静岡電子情報カレッジ
	三重	2017年9月30日（土）10:00-15:00	三重県庁
	大阪	2017年9月24日（日）10:00-17:00	大阪ユビキタス協創広場 CANVAS
	奈良	2017年10月1日（日）10:00-17:00	帝塚山大学 学園前キャンパス
	高知	2017年8月14日（月）9:30-16:30	高知県教育センター分館
	山口	2017年9月24日（日）10:00-17:00	サビエル高等学校
	福岡	2017年8月26日（土）11:30-17:00	都久志会館
	大分	2017年8月27日（日）10:00-16:00	アイネス、大分県消費生活・男女共同参画プラザ
鹿児島	2017年8月26日（土）10:00-17:00	鹿児島大学	
東京サミット	2017年11月3日（金）13:00-17:00	東京電機大学 千住キャンパス	
最終報告会	2017年12月中旬頃	（未定）	

東京サミットへは各地域で独自で実施した情報モラル・リテラシー啓発サミットからのオブザーバー参加者を招待予定。（サミット熟議のみ参加）※2016年度実績：沖縄、福井

3. 高校生 ICT Conference 2017 in 新潟 開催概要

概要	<p>高校生、教員、企業関係者など 70 名の参加者を得て、「高校生が考える心豊かな生活 ～ ICT× (家族・学校・地域) ～」をテーマに高校生がグループに分かれて活発な議論と発表を行いました。</p> <p>【リアル熟議】 司会進行・主旨説明 草の根サイバーセキュリティ運動全国連絡会 常務理事 吉岡 良平 様</p> <p>高校生 ICT Conference の概要及び本日の大まかな流れを説明していただきました。</p> <p>開会の挨拶 (1) 総務省 信越総合通信局 電気通信事業課 課長 中島 淳 様</p> <p>「ICTカンファレンスには、初対面の人たちと話し合い、聞く・話す・考える、ことを学ぶという教育的側面と、インターネットについて考えることで、将来のよりよいインターネット環境の構築の一助とする、という二つの側面があります。」 「ICTをどのように利活用すれば心豊かな生活を実現できるか、高校生の皆さんから、大人には考えつかない斬新なアイデアが出ることを期待します。」と話して頂きました。</p> <p>(2) 文部科学省 生涯学習政策局 青少年教育課 課長補佐 塚田 昌毅 様</p> <p>「インターネットの技術やサービスは日々発展しており、日常生活や社会の発展に欠かせないものとなっていますが、利便性と引き替えに、名誉毀損やプライバシー侵害、ネットいじめ等、犯罪の被害者や加害者となるようなことがあってはなりません。」 「心豊かな生活を実現するために、ICTの利活用における光と影について大いに熟議を重ね、本日集まったたくさんの仲間たちと共に、楽しい、実りある、そして、記憶に残るような時間になることを期待します。」と話して頂きました。</p> <p>第一部 事業者による講演</p> <p>デジタルアーツ株式会社 経営企画部 経営企画課 政策担当課長 チーフエバンジェリスト 工藤 陽介 様</p> <p>「企業や大人への要求ではなく、高校生を主語にして議論して欲しい」「高校生の強みを活かしてほしい」「漠然と考えるのではなく、学校・地域・家庭に分解すると考えやすい」と話し、本カンファレンスで議論する上での考え方などについてお話し頂きました。</p>
----	--

	<p>アイスブレイク、自己紹介、昼食休憩</p> <p>6つのグループに分かれ、各グループ内で自己紹介などを実施しました。グループごとに昼食をとった後、アイスブレイクを兼ねて、NCC 新潟コンピュータ専門学校の学生が制作したVRゲームを体験したり、ロボコンに出場したロボットの説明を受けたりしました。</p> <p>第二部：熟議「高校生が考える心豊かな生活 ～ ICT×（家族・学校・地域）～」</p> <p>グループに分かれ、敬和学園大学、NCC 新潟コンピュータ専門学校の学生が生がファシリテーターとなって、高校生熟議を開始しました。メモや付箋紙を活用しながら模造紙に貼り付けて意見を整理分類しまとめて行きました。</p> <p>第三部：グループ発表</p> <p>各グループともプレゼンテーションソフトを活用して3分程度の発表を行いました。（詳細は別紙「グループ発表資料」をご参照ください）</p> <p>その後、参加生徒により、11月3日に開催される東京サミットに行く代表校の選定投票を行い、新潟第一高等学校が代表校に選出され、発表されました。</p> <p>全体講評 敬和学園大学教授 一戸 信哉 様</p> <p>「各班とも議論が盛り上がり、短時間で発表しなければならない中でよいアイデアを出し、具体案に近づくところまで来ていた。」</p> <p>「いくつかキーワードがある中で、新潟県における地域の課題といった地域の話をしていたグループが多く、新潟県民の地域への愛を感じた。」などと講評を頂きました。</p>
参加校：	新潟第一高等学校 新潟県立新潟南高等学校 新潟県立新潟工業高等学校 新潟県立新津高等学校 新潟県立新津工業高等学校 新潟県立巻高等学校 敬和学園高等学校 (順不同)
日時：	2017年8月17日(木) 11:00-17:40
場所：	NCC 新潟コンピュータ専門学校(新潟市中央区米山3丁目1-53)
参加人数：	熟議参加生徒 30人 見学者・関係者 20人(教員・教育関係者・その他) 合計：50人
熟議グループ：	熟議参加者が高校生のため匿名とさせていただきます。(敬称略) 【1班】 5名 新潟第一高等学校1年男子、新潟第一高等学校1年女子、新潟南高等学校1年男子、

新潟工業高等学校 2年男子、新津工業高等学校 3年男子

〔ファシリテーター〕

敬和学園大学 3年 鳥海 楓

〔書記〕

敬和学園大学 3年 新垣 裕太

新潟コンピュータ専門学校 1年 田巻 仁衣也

【2班】 5名

新潟南高等学校 1年男子、新潟第一高等学校 1年男子、新潟第一高等学校 1年女子、
新潟工業高等学校 2年男子、巻高等学校 1年男子

〔ファシリテーター〕

敬和学園大学 3年 齋藤 みなみ

敬和学園大学 3年 山川 沙羅

〔書記〕

新潟コンピュータ専門学校 1年 西澤 功雄

【3班】 5名

新潟南高等学校 2年男子、新潟工業高等学校 2年男子、新潟南高等学校 2年女子、
新潟第一高等学校 1年男子、巻高等学校 1年男子

〔ファシリテーター〕

敬和学園大学 3年 阿部 咲

〔書記〕

新潟コンピュータ専門学校 1年 南沢 充駒

【4班】 5名

敬和学園高等学校 2年女子、新潟南高等学校 1年男子、新潟南高等学校 1年男子、
新潟第一高等学校 2年男子、新津高等学校 1年女子

〔ファシリテーター〕

敬和学園大学 4年 若山 真生

〔書記〕

新潟コンピュータ専門学校 1年 中村 駿太

【5班】 5名

新潟南高等学校 1年男子、新津高等学校 1年男子、新潟南高等学校 2年男子、巻高
等学校 1年女子、新潟第一高等学校 2年男子

〔ファシリテーター〕

敬和学園大学 2年 中村 美桜

〔書記〕

新潟コンピュータ専門学校 3年 木津 一希

【6班】 5名

	新津高等学校 1 年男子、新潟第一高等学校 2 年男子、新潟南高等学校 1 年男子、新潟工業高等学校 2 年男子、敬和学園高等学校 2 年女子 〔ファシリテーター〕 敬和学園大学 2 年 小林 明日香 〔書記〕 新潟コンピュータ専門学校 1 年 山尾 久志
--	--

主担当

安心ネットづくり促進協議会	事務局
新潟県サイバー脅威対策協議会事務局（新潟県警サイバー犯罪対策課） 新潟コンピュータ専門学校	会場手配、什器備品手配 飲食手配、庶務
株式会社ラック	庶務
各団体、事業者等	講演、ノベルティ、資料提供 他

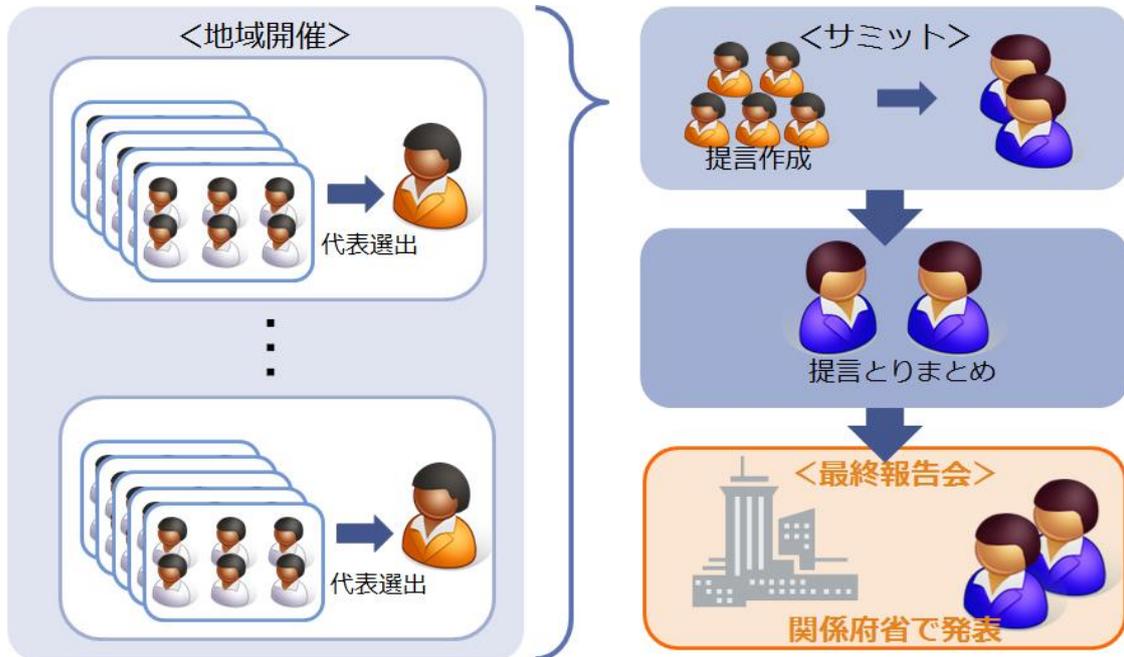
4. 高校生 ICT Conference 2017 サミット

高校生 ICT Conference 2017 サミットは、各地で開催された Conference の成果を高校生の代表として提言をまとめるための場です。その代表者の選考は以下の手順によります。

- 1) 参加が決まった場合、参加生徒を決めていただき、事前に登録をする
- 2) 熟議終了後、参加生徒の投票を基に代表を選出
- 3) 各地の代表者でサミット開催
- 4) サミット終了後、最終報告会で発表する代表を上記手順と同様に選出
- 5) 最終報告会代表者が、サミットの内容を提言にまとめ、最終報告会で提言発表を行う

5. 高校生 ICT Conference 最終報告会

高校生 ICT Conference 2017 サミットで検討された提言を、選出された代表者が報告用にとりまとめ、関係府省庁にて報告を行うとともに、関係府省担当者との意見交換によりコミュニケーションを語る。



6. 高校生 ICT Conference の成果物と終了後の対応

- 1) グループ発表資料保存（又は模造紙など発表紙面の撮影）
- 2) Conference 終了後、発表内容、講評と併せて高校生 ICT Conference のサイトにアップデート
- 3) 高校生 ICT Conference 2017 サミット終了後、実行委員会にて取りまとめ
- 4) 高校生 ICT Conference 2017 サミット代表者による最終報告会用資料の作成
- 5) 最終報告会での発表

以上